

【様式】第2号の1～4—①

大学・短期大学・高等専門学校

(注) 様式第2号の1—①

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1—②を用いること。

(注) 様式第2号の2—①

※国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2—②を用いること。

(注) 様式第2号の4—①

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4—②を用いること。

(申請書を作成する際には、1頁目を削除すること)

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	嗟峨美術短期大学
設置者名	学校法人 大覚寺学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
	美術学科	夜・通信		2	60	62	7	
	専攻科	夜・通信			14	16	0	
		夜・通信						
		夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

WEB シラバスのシラバス検索より、キーワードに「社会における実務経験」と入力して検索。

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	嗟峨美術短期大学
設置者名	学校法人 大覚寺学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.kyoto-saga.ac.jp/about/info/#column09>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	宗教法人役員	令和3年1月12日～	総務、財務担当
非常勤	弁護士	令和5年6月1日～令和7年5月31日	法務担当
(備考) 学外者である理事は、合計で3名である。			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	嵯峨美術短期大学
設置者名	学校法人 大覚寺学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画(シラバス)は、科目担当者が授業概要のほか、到達目標、評価基準の方法等を、事前レクチャーに基づき作成。作成されたシラバスは第三者(教務委員)が確認、精査することで適正化を図る。</p> <p>【シラバス作成・公開時期】 シラバス作成時期：前年度11月～2月頃 第三者精査機関：前年度3月初旬～3月下旬 シラバス公開時期：3月下旬(履修登録前)</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>Web シラバスにより公表 URL:https://unipa.kyoto-saga.ac.jp/uprx/up/pk/pky001/Pky00101.xhtml</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

シラバスに記載されている評価方法・評価配分に沿って評価を行う旨を教員に周知徹底。また、成績異議申し立てが発生した場合、評価基準に沿った評価であるか否かを、第三者（教務委員）が確認することで、評価の適正化を図る。
単位認定の成績付与方法、履修認定(履修条件・履修制限)に関しては、履修ガイダンス時に全学生に配布する「学生便覧」に記載して公表。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

学生ポータルで個人のGPAを確認することができ、学生ポータル掲示板にて学科・学年別の通算GPA分布図を公開することで、自身がどの位置にあるかの確認を促す。また、GPA値が極端に低い学生に関しては、成績不振注意あるいは退学勧告の就学指導措置を行う。GPAの設定基準はWebで公開している履修規程に記載、GPAの計算式は、全学生に配布する学生便覧に記載して公表。

【GPA算出方法】 (成績評価(GP):「秀」4点、「優」3点、「良」2点、「可」1点)

・年度GPA

(当該年度の「秀」単位数×4点+「優」単位数×3点+「良」単位数×2点+「可」単位数×1点)÷当該年度の総履修登録単位数

・通算GPA

(全期間の「秀」単位数×4点+「優」単位数×3点+「良」単位数×2点+「可」単位数×1点)÷全期間の総履修登録単位数

客観的な指標の
算出方法の公表方法

履修登録ガイダンス時に配布する学生便覧に記載することで公表とする。一般の方も、本学にて学生便覧の閲覧が可能(教務グループにて、指定の申請用紙に閲覧希望箇所を記入、提出後、PDFデータを印刷し配布する。)

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

学位授与方針(DP)をWeb及び学生便覧にて公表。学位授与の条件である卒業要件は、全学生に配布する学生便覧にて公表。併せて、シラバスにDPとの関連性を明記することで、学修成果、卒業認定、学位授与の関連性の明確化を図る。卒業の認定に関しては、各科目の成績評価、必須要件、修得単位数を基幹システムで算出後、複数名の目視チェック、その結果を担当教員に確認の上、教務委員会、教授会で審議し学位授与を決定する。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

[https://www.kyoto-
saga.ac.jp/pdf/about/info/about_info_diploma_policy.pdf](https://www.kyoto-saga.ac.jp/pdf/about/info/about_info_diploma_policy.pdf)

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	嵯峨美術短期大学
設置者名	学校法人 大覚寺学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.kyoto-saga.ac.jp/about/info/#column03
収支計算書又は損益計算書	https://www.kyoto-saga.ac.jp/about/info/#column03
財産目録	https://www.kyoto-saga.ac.jp/about/info/#column03
事業報告書	https://www.kyoto-saga.ac.jp/about/info/#column03
監事による監査報告(書)	https://www.kyoto-saga.ac.jp/about/info/#column03

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.kyoto-saga.ac.jp/about/evaluate/#column01

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 美術学科
教育研究上の目的 (公表方法 : https://www.kyoto-saga.ac.jp/pdf/about/info/about_info_postgraduate_juniorcollege.pdf)
<p>(概要)</p> <p>短期大学美術学科</p> <p>学生の自己表現能力を育てるため、基礎教育を重視して、学生自らが自己到達目標に向かって努力する姿勢を育む。また、学生一人ひとりの個性を尊重し、自主性を育てる。さらに、現在の芸術の動向や近未来の社会状況を把握するため、視野を広め、見識を新たにする機会を提供し、向学の意欲を高める。</p> <p>○学習成果</p> <p>嵯峨美術短期大学は、以下に示す資質・技能を備えた人材の育成を目標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代社会に生起する様々な事象、現在の芸術の動向および伝統的な芸術表現と様式および理論を学び、さらにそれを現代に活かすことができる。 ・柔軟な思考と創造性を発揮し、問題解決の手法を幅広く検討し、実践できる。 ・主体的にテーマ・課題を見出す姿勢、他者を尊重し思いやる心、自らの個性を発揮し発信することのできる力を身につけている。 ・現代の芸術に必要な基礎的な造形力を養い、それを応用し自らの個性を表現し発信する力を身につけている。 <p>短期大学専攻科</p> <p>自主的研究が可能な、自由度の高いカリキュラムと専門性を高める教育を通して、高い技能と深い思考力の向上を図り、優れた表現能力を修得する。さらに、地域社会と連携した、より実践的な活動を通じて、現在の社会状況の理解と、積極的な社会参加をめざす。</p> <p>○学習成果</p> <p>嵯峨美術短期大学専攻科は、以下に示す資質・能力を備えた人材の育成を目標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代社会と美術やデザインとの関わりを理解し、今後自ら活動していく具体的かつ現実的な展望を他者に説明することができる。 ・社会の要請に応えるため、調査・分析・企画立案を適切かつ機敏に実行できる。 ・主体的に研究テーマを見いだし、社会に即応していこうとする強い意欲を身につけている。 ・美術やデザインにおける高度な専門性を身につけ、それをもとに自らの感性を表現する実践的なプレゼンテーション技能を有している。
卒業又は修了の認定に関する方針 (公表方法 : https://www.kyoto-saga.ac.jp/pdf/about/info/about_info_diploma_policy.pdf)
<p>(概要)</p> <p>短期大学美術学科</p> <p>本学科の履修規程に定められた卒業必要単位を取得した者には、以下に示す能力を身につけたものと認定して、短期大学士(美術)の学位を授与する</p> <p>〔知識・理解〕</p> <p>A-1 現在の芸術の動向および理論を理解し説明することができる。</p> <p>A-2 伝統的な芸術表現と様式を学び、現代に生かすことができる。</p> <p>A-3 現代社会に生起する様々な事象に対してみずからの考えを筋道を立てて述べることができる。</p> <p>〔論理的・創造的思考力〕</p> <p>B-1 柔軟な思考と創造性を発揮できる。</p> <p>B-2 問題解決の手法を幅広く検討し、実践することができる。</p>

<p>〔態度・価値観・倫理観〕</p> <p>C-1 主体的にテーマ・課題を見出す姿勢を身につけている。</p> <p>C-2 他者を尊重し思いやる心を身につけている。</p> <p>〔技能・技術・表現〕</p> <p>D-1 現代の芸術活動に必要な基礎的な造形力を身につけている。</p> <p>D-2 芸術の技術を応用し、自らの個性を表現し発信する力を身につけている。</p> <p>短期大学専攻科</p> <p>A 現代社会と美術やデザインとの関わりを理解し、今後自ら活動していく具体的かつ現実的な展望を他者に説明することができる。</p> <p>B 社会の要請に応えるため、調査・分析・企画立案を適切かつ機敏に実行できる。</p> <p>C 主体的に研究テーマを見だし、社会に即応していこうとする強い意欲を身につけている。</p> <p>D 美術やデザインにおける高度な専門性を身につけ、それをもとに自らの感性を表現する実践的なプレゼンテーション技能を有している。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：https://www.kyoto-saga.ac.jp/pdf/about/info/about_info_curriculum_policy.pdf）</p>
<p>（概要）</p> <p>短期大学美術学科</p> <p>現代に生きる社会人としての基礎的な教養と、芸術文化に対する広い視野を持って社会に貢献できる専門的素養を身に付けるために、段階的に学べるカリキュラムを構成する。そのために以下の科目群を設置する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般教育科目：専門知識に片寄らない広範な教養を身につけ、豊かな人間形成を目指す ・専門教育科目：各分野・領域に必要な専門知識およびコミュニケーション力を身につける ・展開科目：より幅広い人間形成を目的とする ・選択演習科目：所属分野・領域に関わらず、さまざまな表現の習得を目的とする ・専門演習科目および専門実習科目：所属分野・領域の必修科目として設定する <p>短期大学専攻科</p> <p>現代に生きる社会人としての基礎的な教養と、芸術文化に対する広い視野を持って社会に貢献できる専門的素養を身に付けるために、段階的に学べるカリキュラムを構成する。そのために以下の科目群を設置する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各専攻共通科目：広範な教養と専門的な知識を身につける ・専攻別専門科目：実習を中心とした授業で、所属専攻の必修科目として設定する
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：https://www.kyoto-saga.ac.jp/examinee/summary/admission_policy/#art_college）</p>
<p>（概要）</p> <p>短期大学美術学科</p> <p>嵯峨美術短期大学は、個性と自主性を尊重しながら、現代社会に対応できる専門的技能と幅広い教養を持った人材の育成に取り組んでいる。そのために以下の項目を目指そうとする意思、および必要な知識・技能を備えた人材を求める。</p> <p>知識・理解</p> <p>高等学校の教科書レベルの知識と理解力を持っている。</p> <p>芸術に関する基礎的知識を有している。</p> <p>論理的・創造的思考力</p> <p>柔軟にものごとをみることができる。</p> <p>自分の考えを文章や言葉で適切に表現できる。</p> <p>態度・意欲</p> <p>社会における芸術に関する種々の問題に関心を持っている。</p>

自らの知識や表現能力を種々の問題解決に役立てたいと考えている。
芸術文化に対する関心を持ち、京都、嵯峨野の地で学ぶ意欲を持っている。
技能・技術・表現
芸術活動に関わる基本的技能を身につけている。
自分の考えを表現するため、作品として構想することができる。

短期大学専攻科

嵯峨美術短期大学専攻科は、芸術に対する深い思考を通して、来たるべき社会に対応する高度な専門性と実践的な社会技能を備えた人材の育成に取り組んでいる。
そのために以下のような学力・資質を備えた人材を求める。

知識・理解

現代の社会状況を理解し、美術やデザインと社会との関わりを説明することができる。

論理的・創造的思考力

与えられた課題に対し、調査・分析をした上で、取り組むことができる。

態度・価値観・倫理観

知識や技術の専門性をより高める意欲を持っている。

積極的に地域との連携を図り、社会との関わりを深める意欲を持っている。

技能・技術・表現

芸術活動に必要な確実な技能を身につけている。

美術やデザインの技術を用いて、自らの個性を表現し発信する技能を身につけている。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.kyoto-saga.ac.jp/about/campus/dept/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	人	—					人
美術学科	—	7人	5人	2人	人	人	人
	—	人	人	人	人	人	14人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
人			人				人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)			公表方法： https://www.kyoto-saga.ac.jp/about/teachers/				
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
美術学科	150人	162人	108%	300人	370人	123.3%	人	人
専攻科	30人	53人	176.7%	60人	103人	171.7%	人	人
合計	180人	215人	119.4%	360人	473人	131.4%	人	人
(備考)								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
美術学科	152人 (100%)	60人 (39.5%)	42人 (27.6%)	50人 (32.9%)
専攻科	45人 (100%)	0人 (0%)	28人 (62.2%)	17人 (37.8%)
合計	197人 (100%)	60人 (30.5%)	70人 (35.5%)	67人 (34%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>単位認定の方針・GPAの算定について 履修ガイダンス時に全学生に配布する「学生便覧」に記載して公表 ディプロマポリシー https://www.kyoto-saga.ac.jp/pdf/about/info/about_info_diploma_policy.pdf</p>
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 各科目に設定されている単位を、一定の基準を満たす単位数を修得する事で卒業とする。				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	美術学科	62 単位	有 無	単位
	専攻科	48 単位	有 無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法： https://www.kyoto-saga.ac.jp/about/campus/campus_map/

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	美術学科	1,050,000 円	200,000 円	200,000 円	
	専攻科	1,000,000 円	200,000 円	200,000 円	
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 経済的理由で修学が困難な学生に対して、嵯峨美術大学奨学金（給付型）、嵯峨美術短期大学奨学金（給付型）、ワークスタディ奨学金（給付型）の制度を設けている。 また、何らかの障害や持病を抱えた学生も安心して学業に励めるよう「学修支援」の制度を入学手続きの段階から保護者・学生本人に向けて周知し、希望者それぞれに応じた支援計画を立て事務局・教員間で連携を取りながらサポートにあたっている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 専任教員と事務職員で構成する学生支援委員会を設置し、就職・進学に関する支援の内容や方法等について協議し、情報共有を図りつつ教職協働による支援を行っている。 正課におけるキャリア支援は、主に1年次生を対象とし「キャリアデザイン演習」「キャリア実践演習」「インターンシップ研修」の開講により支援している。 正課外では、各年次に応じた内容でキャリアガイダンスやキャリア関連イベントを開催している。また、事務職員やキャリアコンサルタントによる進路相談、履歴書・エントリーシート添削、面接練習等の個別支援を実施している。加えて、新卒応援ハローワークの出張相談日を設ける等、支援体制の強化に努めている。 コロナ禍以降、企業のオンライン選考が増加傾向に対応するため、学内にオンライン就活専用ボックスを設置した他、教室や端末を貸し出す等の対応を行っている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) カウンセラーによる対面式のメンタルサポートをはじめ、電話やメールによる相談や全国100カ所のカウンセリング施設での面談カウンセリングを行える体制を整えている。また毎月校医による健康相談や、常設の保健室では、ケガ、体調不良、健康相談に応じている。その他、初年次学生支援体制（担任制）を整え、任意の面談体制を整えている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法 : https://www.kyoto-saga.ac.jp/about/info/
--

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	F226310107830
学校名 (〇〇大学 等)	嗟峨美術短期大学
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人大覚寺学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		88人	83人	92人
内訳	第Ⅰ区分	57人	52人	
	第Ⅱ区分	15人	16人	
	第Ⅲ区分	16人	15人	
	第Ⅳ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				92人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号、第4号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	—
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	人	0人	—
計	人	0人	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。） 及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	人	—	0人
GPA等が下位4分の1	人	0人	—
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	人	0人	0人
計	人	—	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。